

## 競技注意事項

### 1. 競技規則について

本大会は2014年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

### 2. 練習について

10月30日(木)～11月2日(日)の期間に「練習会場使用日程」に示す時間帯で、『13. 練習会場の使用について』にもとづき練習ができる。(競技役員の指示に従い練習すること)

### 3. 招集について

(1) 招集所はマラソングート(100mスタート地点後方:2階外周路 柱番号273～275)に設ける。

(2) 招集の方法

- ① 競技者は、招集完了時刻15分前に招集所内の席で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技役員にユニフォームのナンバーカードの確認を受け、腰ナンバー標識(1枚)を受け取り、出発までに右腰部やや後方に付ける。(トラック競技のみ)あわせてスパイクピンの長さ、靴底の厚さ(走高跳・走幅跳・ジャベリックスロー)及びシャツ・パンツ等の商標の点検を受ける。代理人による最終点呼は認めない。
- ② 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集完了時刻までに、その旨を本人または代理人が、招集所に用意した書類で競技者係に届け出る。トラック競技が先に開始される場合には、トラック競技終了後直ちに当該種目競技場所に移動し、担当競技役員に申し出る。
- ③ リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、A・B・Cの各クラスから1名は必ず出場しなければならない。どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初に出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。  
(競技規則第170条10)
- ④ リレー競技に出場する都道府県は競技者(4名)の氏名と走者順及びナンバーを所定のオーダー用紙に記入し、競技者係に提出する。その締め切り時刻は第1組招集完了時刻60分前とする。準決勝・決勝についても必ず提出する。
- ⑤ 招集完了時刻は、競技日程の通りとする。
- ⑥ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
- ⑦ やむを得ず棄権する時は、競技者の所属する監督が「棄権届」にその旨を記入して、招集完了時刻までに招集所の競技者係に提出する。

### 4. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、主催者が用意したもの(胸・背用1枚)を使用し、配布された大きさのままユニフォームに固定する。なお、跳躍種目に出場する競技者は、背部または胸部のみでもよい。(競技規則第143条7, 8)
- (2) 3000mは特別ナンバーカードを使用する。招集時に配布するので、ナンバーカードを持参して受け取ること。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識(1枚)を配布する。(招集時に受け取り、右腰部やや後方に付ける。)
- (4) ナンバーカードとプログラムの配布については、次のように行う。
  - ・配布場所 : 日産スタジアム一般利用者入口(2階外周路 柱番号277付近:8号エレベーター横)
  - ・配布時間 : 10月30日(木) 11:00～17:00  
10月31日(金) 8:00～17:00  
11月 1日(土) 8:00～17:00  
11月 2日(日) 8:00～13:00

### 5. 競技場内への入場について

(1) トラック競技出場者の入退場について

- ① 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- ② フィニッシュ後、それぞれ競技場内の通路を利用してスタート地点へ戻り、マラソングート(100mスタート地点後方)から退場する。

- ③ 決勝において1～3位の入賞者は、入賞者係によってインタビュー室に誘導される。
- (2) フィールド競技出場者の入退場
  - ① 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
  - ② 跳躍及び投てき競技役員の誘導により各ゲートから退場する。
  - ③ 決勝において1～3位の入賞者は、入賞者係によってインタビュー室に誘導される。

6. 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) 予選・準決勝・決勝の組み合わせ及び全競技のレーン順・試技順は、競技規則第166条・第167条により主催者が公平に決める。
- (2) トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載のナンバーの左に数字で示す。
- (3) トラック競技の準決勝・決勝のレーン順は、招集所付近(2階外周路 柱番号273～275)に掲示する。
- (4) タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について同記録があり、レーン数が不足する時の処置は、同記録者の写真を拡大して、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それが不可能である時は、抽選によって次のラウンドへの進出者を決める。(競技規則第167条)

7. 競技について

(1) トラック競技について

- ① 計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 競技運営上、1～9レーンを使用する。
- ④ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
- ⑤ 4×100mリレーの各走者は、同一のユニフォームでなければならない。
- ⑥ 4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、出発係から渡されたマーカーを1ヶ所使用することができる。渡されたマーカー以外の使用は認めない。
- ⑦ ハードル種目の規格は、次の通りである。

性別	種別	高さ	ハードル間	性別	種別	高さ	ハードル間
男子	A	0.991m	9.14m	女子	A	0.762m	8.50m
	B	0.914m	9.14m		B	0.762m	8.00m

- ⑧ スタート方法は競技規則第162条6, 7により、1回目から不正スタートした競技者は失格とする。スタートの合図は英語“On your marks(オン・ユア・マークス)”、“Set(セット)”とする。

(2) フィールド競技について

- ① 走高跳・ジャベリックスローに出場する競技者は、主催者が用意したマーカーを2ヶ所使用することができる(ただし、曲走路内側に限る)。渡されたマーカー以外の使用は認めない。
- ② フィールド競技における競技場内での練習は2回とし、すべて競技役員の指示に従う。指示以外の練習は認めない。
- ③ 走幅跳は、予選を実施しない。並んで設けられた2つのピットに分かれて決勝を行う。3回の試技後、上位8名がそれぞれのピットで残り3回の試技を行う。
- ④ 走高跳は、予選を実施しない。並んで設けられた2つのピットに分かれて決勝を行う。それぞれ最後の高さまで競技を行い、それぞれのピットの結果を総合して順位を決定する。優勝決定戦が必要な場合、1組で出た場合はピットAで、2組で出た場合はピットBで1・2組で出た場合はピットAで実施する。(この際不公平が生じないように十分な足合わせの時間を設ける)
- ⑤ 跳躍競技の競技場所は、1組はピットAまたはF、2組はピットBまたはGとする。
- ⑥ 砲丸投・円盤投・ジャベリックスローは予選を実施しない。
- ⑦ 投てき競技における「身体の保護」については競技規則第187条4に従う。

- (3) 抗議は、競技規則第146条に従って定められた時間内に、競技者自身または監督が口頭で審判長(大会本部に申し出る)に行う。さらに、この裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、当該総務員を通じて上訴審判員に文書で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる。
- (4) 競技場内での助力は禁止する。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。(競技規則第144条2b)
- (5) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては、当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。(競技規則第125条5)
- (6) プログラムに記載された競技者が理由なく出場しなかった時は、本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない措置を講ずることがあるので、欠場する場合は必ず棄権届を競技者係まで提出する。

## 8. バーの上げ方について

走高跳決勝におけるバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決まるまでは下記の通りとする。

\* 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、2cmとする。

種目	性別	種別	練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	A	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	1m86	1m89	3cm
			1m80							
	女子	A	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	
			1m55							

## 9. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 主競技場における競技前の練習用としても、個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- (3) 競技場に備えてある投てき用器具は、次の通りである。

品名	メーカー名	規格	数量	総数
砲丸(A男子用:5.000kg)	ニシ	鉄製 直径 110.0mm	8	8
砲丸(B男子、A女子用:4.000kg)	ニシ	鉄製 直径 103.0mm	10	15
		鉄製 直径 109.0mm	3	
		鉄製 直径 99.0mm	2	
砲丸(B女子用:2.721kg)	ニシ	鉄製 直径 90.5mm	12	12
円盤(A・B・C共通男子用:1.500kg)	ニシ	スーパーHM	4	12
		スーパー	8	
円盤(A・B・C共通女子用:1.000kg)	ベルグ	スーパーセグラ	5	22
	ペーサー	ギル ホローウッドスター	5	
	ニシ	スーパー	8	
		ウッド	4	
ターボジャブ(A・B・C共通男子ジャベリック、A・B・C共通女子ジャベリック用:0.300kg)	ニシ	ターボジャブⅦーソフトタイプ	30	30

(4) 投てき物の重量は、次の通りである。

性別	種別	種目	重量
男子	A	砲丸	5.000kg
	B	砲丸	4.000kg
	A・B・C共通	円盤	1.500kg
		ジャベリック	0.300kg
女子	A	砲丸	4.000kg
	B	砲丸	2.721kg
	A・B・C共通	円盤	1.000kg
		ジャベリック	0.300kg

#### 10. 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とし、スパイクピンの先端の直径はすべて4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの本数は11本以内とする。スパイクの先端が鋭利なものは使用してはならない。(競技規則第143条2～6)

#### 11. 表彰について

- (1) 最優秀選手賞は男子1名、女子1名の計2名を選考委員会で選び、競技会終了後授与する。
- (2) 各種目の優勝者ならびに2位、3位の入賞者の表彰は、表彰台で行う。
- (3) 表彰を受ける競技者は競技終了後、入賞者係によりインタビュー室経由で正面スタンド下に設けられた被表彰者控室に誘導され待機する。
- (4) 4位から8位の入賞者は、正式発表30分以降に賞状渡し所《日産スタジアム一般利用者入口(2階外周路柱番号277付近)》で受け取る。

#### 12. 一般的注意事項

- (1) 各都道府県にIDカードを6枚発行する。さらに各参加団体にもIDカードを1枚発行する(ただし、男女で出場している参加団体には2枚まで発行する)。いかなる場合でも再発行はしない。

#### (2) 商標について

商標等の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に違反したものについて主催者で処置する。

##### ① 上半身の衣類(ベスト・レオタード等)

・ベスト:衣類の製造会社名/ロゴを前に1ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で、面積30cm<sup>2</sup>以内の長方形とする。

・レオタード:衣類の製造会社名/ロゴを前に1ヶ所または2ヶ所表示できる。1ヶ所の場合は、文字の高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で面積30cm<sup>2</sup>以内の長方形とする。2ヶ所の場合はウエストより上部、下部にそれぞれ1ヶ所とするが、それぞれの表示が隣接してはならない。それぞれの文字の高さは3cm以内、トータルロゴの高さは4cm以内で、面積は20cm<sup>2</sup>以内の長方形とする。

・トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット:衣類の製造会社名/ロゴを衣類の前(右胸か左胸)に1ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で、面積40cm<sup>2</sup>以内の長方形とする。

##### ② 下半身の衣類(ソックス・ショーツ・タイツ等[レオタードを除く])

・製造会社名/ロゴを1ヶ所表示することができる。高さは4cm以内、面積20cm<sup>2</sup>以内とする。(ソックスは高さ3cm以内、面積6cm<sup>2</sup>以内とする)

##### ③ 競技中に競技者によって使用されるその他の衣類(ヘッドギア・帽子・ヘッドバンド・手袋・メガネ・サングラス・リストバンド等)

・製造会社名/ロゴは、衣類(製品)1つにつき1ヶ所表示することができる。面積は6cm<sup>2</sup>以内とする。

##### ④ バッグ

・製造会社名/ロゴは、各バッグ2ヶ所まで表示することができる。それぞれの表示の大きさは25cm<sup>2</sup>以内とする。

- (3) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室(208号室)に連絡する。
- (4) 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者にて行う。大会参加中に負傷した場合は傷害保険補償内容を適用する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意する。
- (6) 遺失物については大会庶務係で保管する。保管期限は11月2日(日)競技会終了までとする。  
問い合わせ先:(045)478-2256(大会期間中のみ)
- (7) 記録はその都度発表するが、別に日産スタジアム4階メインスタンド通路、選手招集所及び日産フィールド小机入口付近に設置の記録掲示板に掲示する。
- (8) 応援旗、部旗、横幕等は正面スタンドを除き、ゲート番号S12~N15の1階席後方手すり部分のみとする。個人名等を記した旗、及びのぼりを固定してはいけない。
- (9) スタンドにおけるテント・シートの使用は禁止する。スタンド席でのロープ等を使用しての場所取りも禁止する。スタンド裏通路(コンコース)は都道府県別に割り振られた場所を使用し、シートの使用のみとする。また、シート禁止区域には敷かないようにすること。
- (10) 提出書類等は次の通りとする。

	提出書類	提出場所
①	棄権届	競技者招集所
②	2種目同時出場届	同上
③	リレーオーダー届	同上
④	上訴申立書	ナンバーカード配布場所 (総務員 [預託金 1万円])

- (11) 「記録証明書」を希望する競技者は、大会庶務係(ナンバーカード配布場所)に500円を添えて申し込む。

### 13. 練習会場の使用について(練習会場注意事項)

#### (1) 主競技場(日産スタジアム)

- ① 10月30日(木)は、トラック競技(ハードルを除く)のみ開放する。開放時間等は、『練習会場使用日程』にて確認する。
- ② 練習時の競走路の使用は、『(2)補助競技場』で示したレーンを使用する。主競技場での飲食は一切禁止とし、ゴミはすべて持ち帰る。

#### (2) 補助競技場(日産フィールド小机:2階外周路 柱番号275横階段を降りる)

- ① 10月30日(木)は、ハードル、跳躍競技のみ開放する。
- ② ウォーミングアップは、第1曲走路入口~第2曲走路8レーン出口までの外側芝生部分で行う。フィールド内の「芝」部分への立ち入りは禁止とする。
- ③ 競走路の使用は、以下の通りとする。なお、逆走は固く禁止する。
  - \* 1~2レーン …… 中長距離走
  - \* 3~5レーン …… 短距離走
  - \* 6~8レーン …… リレー & ハードル
  - \* メイン直走路 …… スタートブロック&ハードルの設置
- ④ 補助競技場における練習は、種別の競技時間に合わせて「優先使用時間帯」を設けることがある。
- ⑤ 私物をレーン上に置く等で、レーンを占有しない。

- (3) 投てき練習場(2階外周路 柱番号257外側階段または柱番号275横階段を降りる)
- ① 「投てき練習場」での練習は、『練習会場日程』で示した通りとする。ただし、「投てき練習場」の使用状況によっては競技役員判断により練習の種目・時間を変更する場合がある。
  - ② 危険防止のため、荒天等で安全の確保が困難な場合は、予定時間内においても練習会場を閉鎖することがある。
  - ③ サークル・ピットでの練習は、順番を待つ人がいるときには、1人1回につき、1投とする。
  - ④ 投てき用器具は、必ず各自で持参した物を使用する。(貸し出しはしない)
- (4) 雨天練習場(日産スタジアム1階:2階外周路の柱番号275横階段を降りる)
- ① 雨天時のみ開放する。その際、開放時間は、「練習会場使用日程」による。
  - ② この場所での飲食等は一切禁止とし、ゴミはすべて持ち帰る。
  - ③ 競走路・助走路の使用は、入口付近の案内板に示されたレーンを原則使用する。
- (5) その他
- ① 練習は各個人が、指定された場所・時間で行い、「事故防止」に万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行う。大会参加中に負傷した場合は、傷害保険補償内容を適用する。
  - ② 投てき練習場における投てき練習に必要な用器具は、各自が持参する。
  - ③ 競技場内に「水」以外の飲料持込みは厳禁とする。
  - ④ 荷物等は、個人が責任をもち管理する。ゴミは所定の場所で処理する。
  - ⑤ 会場内(主競技場・補助競技場・投てき練習場・雨天練習場)の入退場時は、必ずIDカードを明示する。また、監督・コーチは会場内においては常にIDカードが確認できるように携帯する。

練習会場使用日程

練習会場	主競技場	補助競技場	投てき練習場	雨天練習場
条 件	全天候型	全天候型	JTの助走路は全天候型	全天候型
トラック	◎	◎	×	◎
跳 躍	×	◎	×	×
投てき	×	×	◎	×
10/30(木)	11:30~17:00 *ハードル練習は、できない。	11:30~17:00 *トラック種目は、ハードルのみとする。	男女SP : 11:30~16:00 ABC男DT: 11:30~12:40 ABC女DT: 12:40~13:50 ABC男JT : 13:50~15:00 ABC女JT : 15:00~16:10	12:00~17:00 *雨天時のみ開放
10/31(金)	×	7:30~17:00	男女SP : 8:00~16:00 (*11:00~12:40:A女限定) ABC男JT: 8:30~9:50 ABC女JT: 9:50~11:50 ABC男DT: 11:50~13:50 ABC女DT: 13:50~15:50	7:30~17:00 *雨天時のみ開放
11/1(土)	×	7:30~17:00	男女SP : 7:30~16:00 (*7:50~8:50:B女限定) (*11:55~12:55:B男限定) ABC男DT: 7:30~9:30 ABC女DT: 9:30~13:05 ABC女JT: 13:05~16:00	7:30~17:00 *雨天時のみ開放
11/2(日)	×	7:30~16:00	A男SP : 8:00~11:40 ABC女JT: 8:00~9:50	7:30~16:00 *雨天時のみ開放

\* 備 考

- ① 砲丸投のピットは、2面あるので、Aを男子用、Bを女子用とする。
- ② SP=「砲丸投」、DT=「円盤投」、JT=「ジャベリックスロー」の略